岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川沼田川水系関屋川支川　災害関連緊急砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県三原市小泉町	北緯	34° 21′ 34.3600″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所	調査期間	2021／10／15～2021／10／15	東経	132° 58′ 37.0600″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 76.87m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	22° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦製DO-DRXSO / エンジン：ヤンマーNFD-10MK1 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1				粘土質砂	濃茶～茶								細～中砂主体。全体に細粒分を含み，粘性を認める。下方につれて粘性弱くなる。表層10cmは木根多く含む。	
2	74.87	2.00		礫混じりシルト質砂	茶褐								細～粗砂主体。全体に細粒分混じる。礫はφ20～40mmの亜角礫主体。花崗岩質の風化礫が大部分だが一部分的に硬質なものを含む。	
3	73.87	3.00		風化花崗岩	茶褐～淡褐灰	w5	h4	E	VI	d	D	GL 0 100	DL～DM級風化花崗岩。風化著しく，砂状コアで採取される。指圧で容易に崩壊する。	
4												GL 0 100		
5												GL 0 100		
6	70.87	6.00		花崗岩	淡褐灰	w5	h4	E	V	d	D	GL 0 100	DH級の粗粒花崗岩。風化著しく，砂状～礫状コアで採取される。指圧で崩壊する。長石の粘土化が認められる。GL-8mよりややコア状態良くなる。	10/15 6.21
7												GL 0 100		
8							h3					GL 0 100		10/16 8.30
9	67.87	9.00												
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
16	1.15	16		
	1.45	300		
50以上	2.15	50	250	
	2.40	250		
26	3.15	26		
	3.45	300		
42	4.15	42		
	4.45	300		
38	5.15	38		
	5.45	300		
50以上	6.15	50	250	
	6.40	250		
50以上	7.10	50	120	
	7.22	120		
50以上	8.10	50	160	
	8.26	160		
50以上	9.03	50	100	
	9.13	100		

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
					S／メタル			0	W1 0	0
			123	66／ケーシング	W／メタル	0	60	1	W3 15	15
		10 15		66	N 93%					